

# 阿部知事 3期目に望む

## 報告書

(2018年8月24日～26日調査)

I	調査の設計	1
II	調査のポイント	3
III	調査の概要	4



一般社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

# I 調査の設計

## ◆調査の目的

長野県知事選挙は8月5日に投開票、現職の阿部守一知事が新人候補を大差で破り3選を果たした。阿部知事の得票は635,365票で前回2014年の626,462票より8903票増やした。しかし投票率は過去最低の43.28%で、阿部知事の長野県全有権者数に占める得票率は36.53%にとどまる。

人口減少時代に長野県をどう活性化させるのか。3期目のかじ取りは難しい課題が山積している。阿部知事の任期は2022年8月まで、東京オリンピック・パラリンピック後やポスト安倍政権を見据えた長野県のビジョンも求められる。

9月1日の阿部県政3期目スタートに合わせ、知事選の評価や期待など県民の意識を探った。

## ◆調査の設計

▽調査対象	県内に住む18歳以上の男女800人
▽抽出方法	県内を東北中南の4地区に分け、さらに18歳～70歳以上の7つの年代層・性に分割し“県下の有権者の縮図”となるように人数を比例配分して、各市・各郡の対象者数を設定。
▽調査方法	個別電話聞き取り・RDD（ランダム・デジット・ダイヤリング）法で実施。コンピューターで無作為に発生させてかける電話調査法で、電話帳に番号を載せていない人も調査できる。無作為に発生させた番号のうち、設定した年代・性の人を選び、目標の800人に達するまで抽出して聞き取りを行った。
▽調査地点	19市9町6村
▽調査時期	2018年8月24日～26日
▽有効回答	818人（男性 366人 女性 452人）

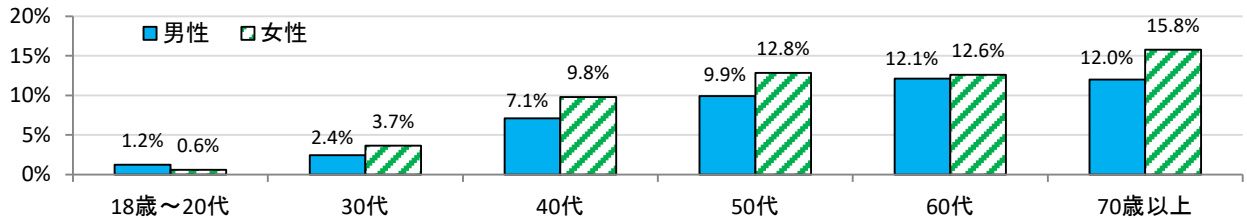
<注>

- ①報告書のパーセント数字は小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。
- ②文中のパーセント数字は原則として小数点以下を四捨五入したが、全体を計算するにあたって必要な場合は小数点第1位まで表記した。
- ③18歳～20代は少数なのでパーセント数字は参考値である。

## ◆サンプルの内訳

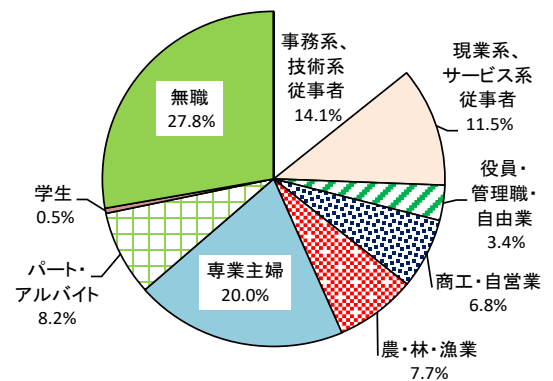
### 【性別と年代】

	合計	18歳～20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
全体	818	15	50	138	186	202	227
	100.0%	1.8%	6.1%	16.9%	22.7%	24.7%	27.8%
男性	366	10	20	58	81	99	98
	44.7%	1.2%	2.4%	7.1%	9.9%	12.1%	12.0%
女性	452	5	30	80	105	103	129
	55.3%	0.6%	3.7%	9.8%	12.8%	12.6%	15.8%



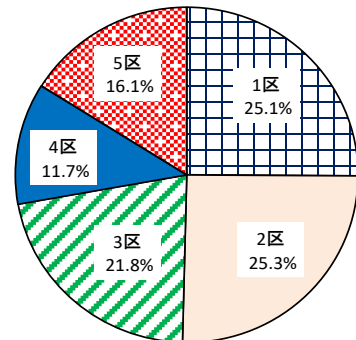
### 【職業】

事務系、技術系従事者	115	14.1%
現業系、サービス系従事者	94	11.5%
役員・管理職・自由業	28	3.4%
商工・自営業	56	6.8%
農・林・漁業	63	7.7%
専業主婦	164	20.0%
パート・アルバイト	67	8.2%
学生	4	0.5%
無職	227	27.8%
その他	-	-



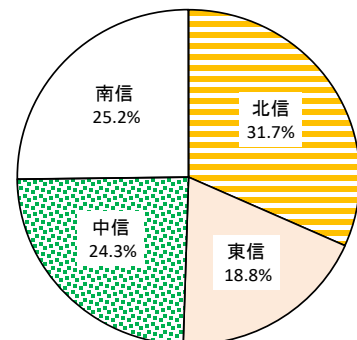
### 【選挙区】

1区	205	25.1%
2区	207	25.3%
3区	178	21.8%
4区	96	11.7%
5区	132	16.1%



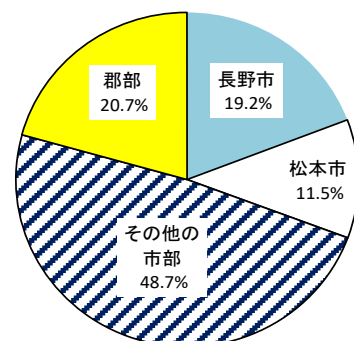
### 【地域】

北信	259	31.7%
東信	154	18.8%
中信	199	24.3%
南信	206	25.2%



### 【市郡】

長野市	157	19.2%
松本市	94	11.5%
その他の市部	398	48.7%
郡部	169	20.7%

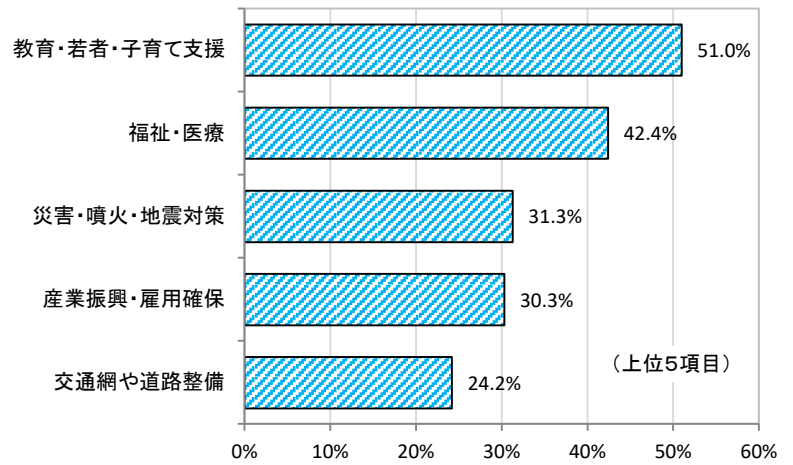


## II 調査のポイント

### 「教育・若者・子育て支援」を最も望む

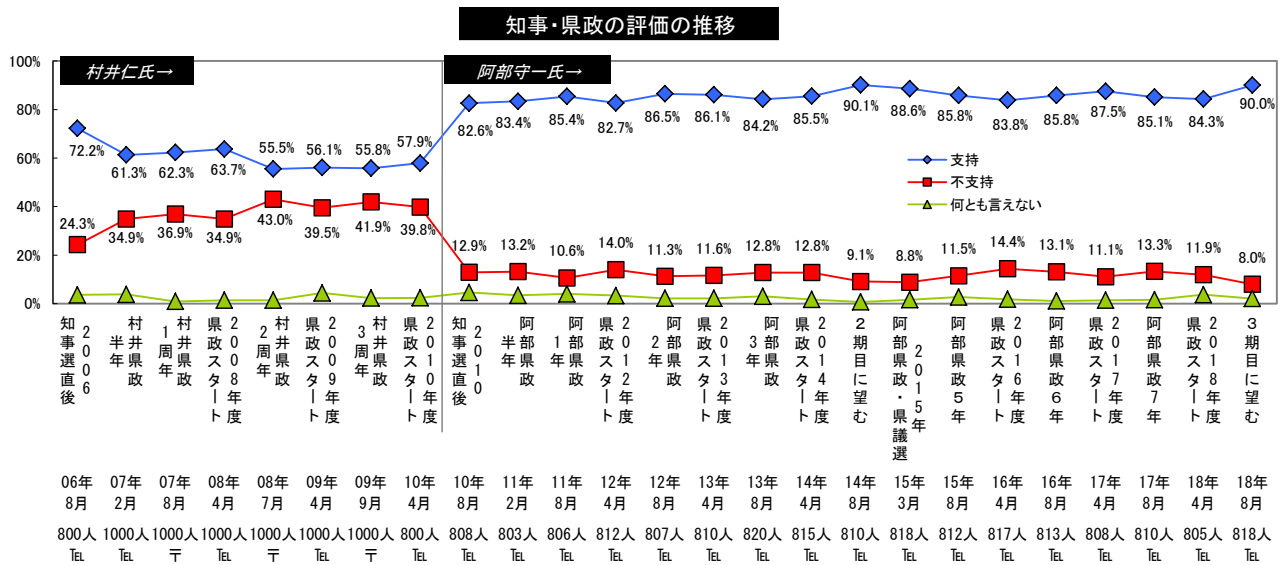
阿部守一県政3期目にあたり、県民が最も力を入れてほしい施策は「教育・若者・子育て支援」で半数が挙げている。このほか「福祉・医療」「災害・噴火・地震対策」がトップ3に入っている。

県政の課題、長野県総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン2.0」の内容理解はなお1割程度にとどまる。



### 阿部知事の支持率、2期目当初と同じ90%

阿部知事の支持率は全体で90%、4年前に再選を果たした時と同率となっている。2010年の知事初当選以来、80%以上は変わりなく県民各層から安定的な支持を得ている。



	06年8月	07年2月	07年8月	08年4月	08年7月	09年4月	09年9月	10年4月	10年8月	11年2月	11年8月	11年11月	12年4月	12年8月	13年4月	13年8月	14年4月	14年8月	15年3月	15年8月	16年4月	16年8月	17年4月	17年8月	18年4月	今回
支持する	35.9%	20.6%	19.6%	22.4%	17.8%	15.9%	16.0%	26.1%	40.5%	39.7%	35.5%	27.5%	32.2%	35.7%	41.0%	37.8%	43.8%	46.8%	40.1%	41.1%	36.8%	42.0%	38.3%	35.4%	46.1%	
どちらかといえば支持する	36.3%	40.7%	42.7%	41.3%	37.7%	40.2%	39.8%	31.8%	42.1%	43.7%	49.9%	55.2%	54.3%	50.4%	43.2%	47.7%	46.3%	41.8%	45.7%	42.7%	49.0%	45.5%	46.8%	48.9%	43.9%	
どちらかといえば支持しない	14.0%	24.6%	24.9%	24.6%	30.7%	28.7%	28.7%	21.3%	8.4%	9.3%	7.9%	10.6%	8.2%	9.1%	8.9%	9.0%	6.4%	6.5%	7.9%	9.7%	9.3%	7.9%	8.1%	8.3%	4.9%	
支持しない	10.3%	10.3%	12.0%	10.3%	12.3%	10.8%	13.2%	18.5%	4.5%	3.9%	2.7%	3.4%	3.1%	2.5%	3.9%	3.8%	2.7%	2.3%	3.6%	4.7%	3.8%	3.2%	5.2%	3.6%	3.1%	
なんとも言えない・わからない	3.6%	3.8%	0.9%	1.4%	1.4%	4.4%	2.3%	2.4%	4.6%	3.4%	4.0%	3.3%	2.2%	2.3%	3.0%	1.7%	0.7%	2.6%	2.7%	1.8%	1.1%	1.4%	1.6%	3.7%	2.1%	

(注) 知事の支持率は2001年の田中康夫県政時代から調査している。スペースの関係もあり、今回は村井仁県政から図示した。なお阿部県政以前の最高支持率は田中知事の84.7% (02年9月)。

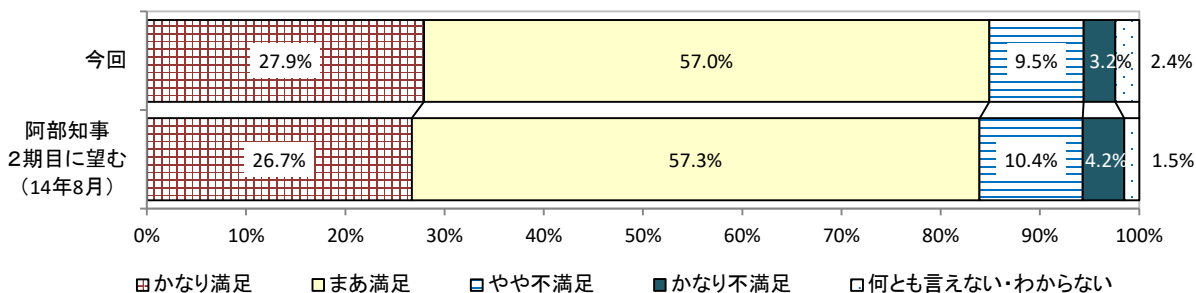
### Ⅲ 調査の概要

#### 知事選の評価 (問1)

##### ◆「満足」全体で85%

今回の知事選の結果について「かなり満足」28%、「まあ満足」57%を合わせて満足度は85%に上る。前回2014年の調査「阿部知事2期目に望む」とほぼ同じ結果だった。性別、年代や地域別で見ても、満足度は全て8割を超えている。

支持政党別でも無党派を含めて、共産党支持者以外は満足が大勢を占める。

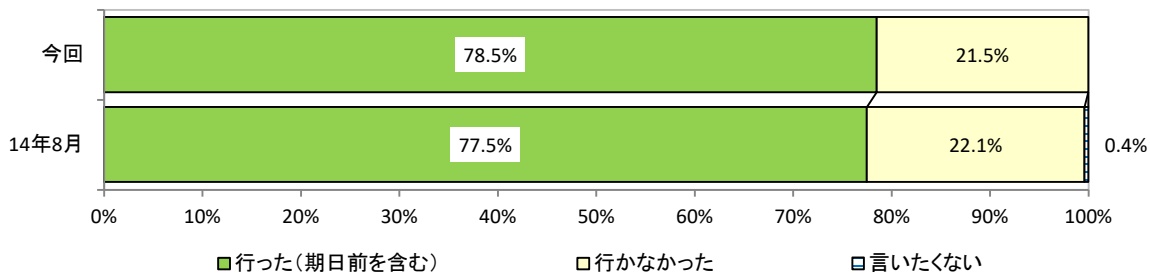


#### 投票行動 (問2~3)

##### ◆投票に「行った」79%

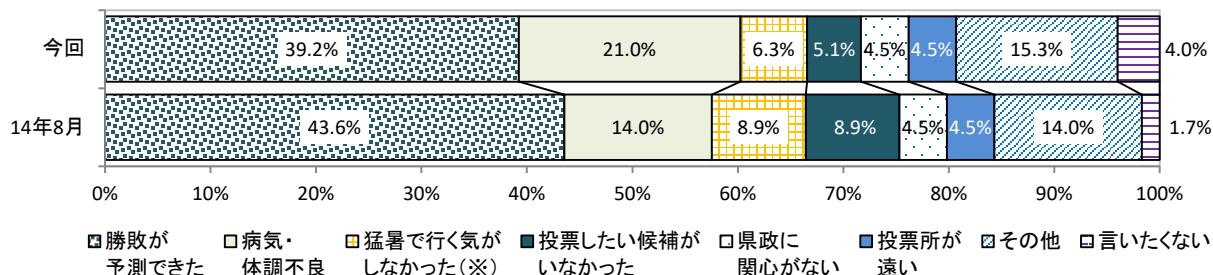
知事選の投票に「行った」78.5%で「行かなかった」が21.5%。電話調査の回答者は、今までも投票率が高くそれを反映した形だ。

しかし今回、実際の投票率は過去最低の43.28%を記録している。



##### ◆投票に行かなかった理由 「勝敗が予測できた」が約4割

投票に「行かなかった」と答えた176人に聞いたその理由は「勝敗が予測できた」39%、「病気・体調不良」21%が多く、「猛暑で行く気がしなかった」は6%と少数だった。4年前も聞いているが、今回同様に「勝敗が予測できた」が4割超で一番多かった。



※14年8月調査では「天候が悪かった」と聞いた

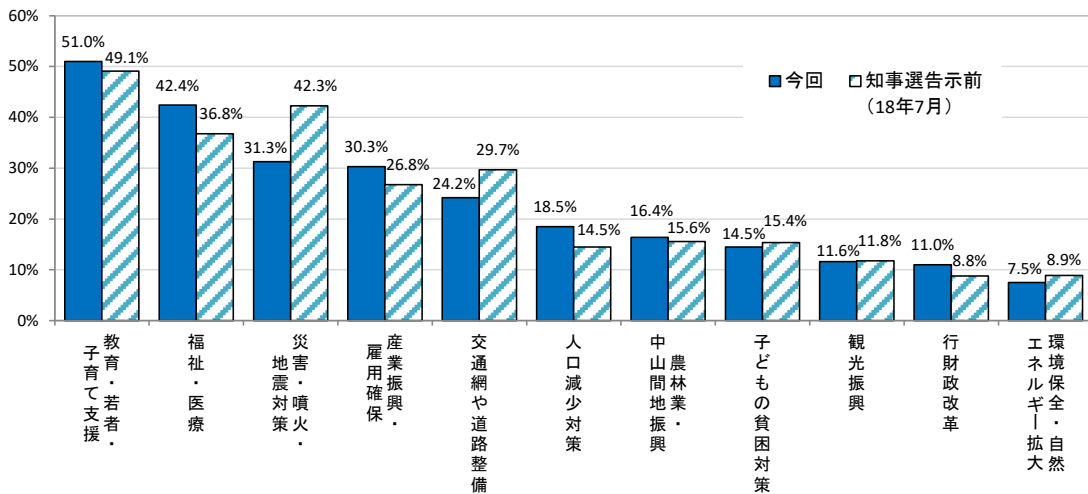
## 力を入れてほしい施策 (問4)

### ◆「教育・若者・子育て支援」が半数

3期目の阿部知事に力を入れてほしい施策(3つ以内)は「教育・若者・子育て支援」が51%でトップ、とりわけ30代(74%)の要望が一段と強い。40代(63%)、18歳~20代も6割を超えている。2番目は「福祉・医療」の42%、女性(51%)と70歳以上(51%)は1番目に挙げている。

以下「災害・噴火・地震対策」31%、「産業振興・雇用確保」30%、「交通網や道路整備」24%と続き、この5項目が2割を超え優先度が高い。

知事選告示前に、同じ選択肢で聞いた争点として取り上げてほしい施策と比べると上位項目は共通で、「福祉・医療」と「産業振興・雇用確保」が順位を上げている。



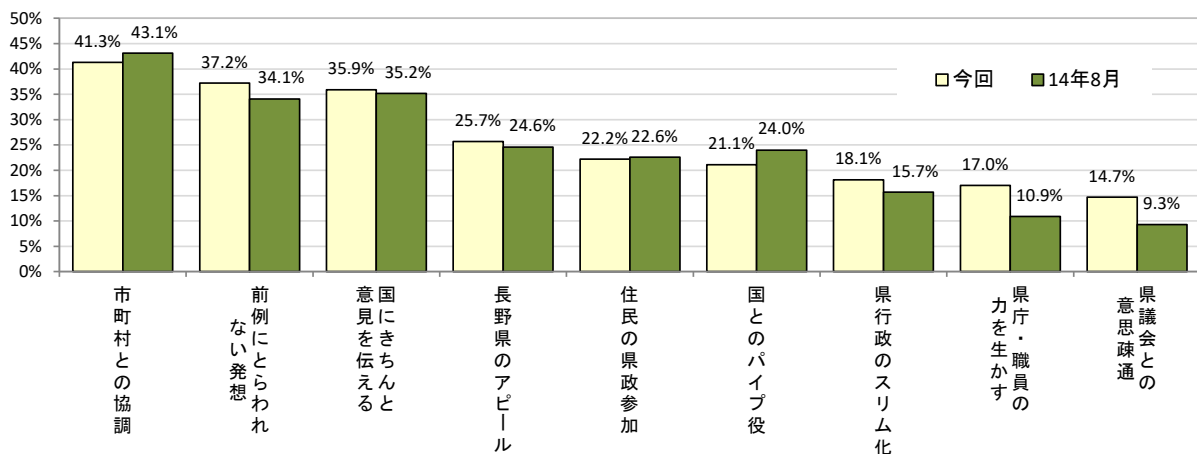
## 県政運営への要望 (問5)

### ◆「市町村との協調」4割

阿部知事にどのように県政を運営してほしいか、4年前と同じ選択肢で尋ねた(3つ以内)。「市町村との協調」が41%で今回もトップ、「前例にとられない発想」37%、「国にきちんと意見を伝える」36%が続き、他の項目とは10ポイント以上開いている。

4番目の「長野県のアピール」(26%)は、若い世代の要望が強く18歳~20代と30代は3割を超えている。「住民の県政参加」(22%)、「国とのパイプ役」(21%)までが2割を超えた。

4年前と比べると、順位に多少の変化はあるものの大きな差異はない。



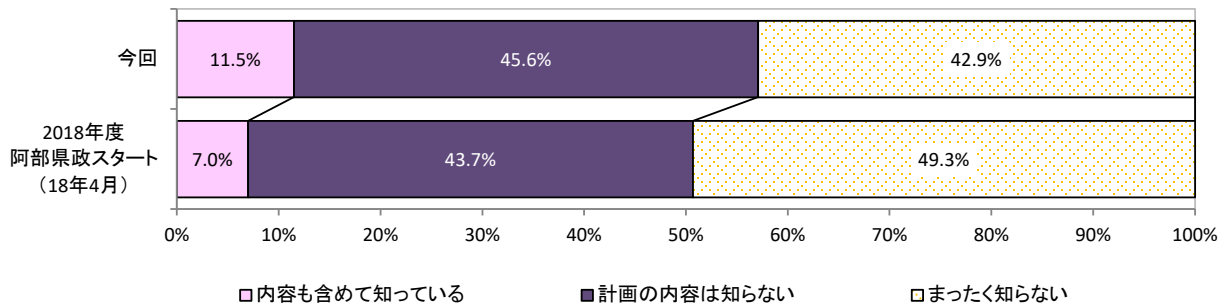
## 阿部知事の公約や県政の課題 (問6)

### ◆新長野県総合5か年計画 「まったく知らない」43%

今年度から新たに始まっている長野県総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン 2.0」について、「内容も含めて知っている」11.5%、「計画の内容は知らない」45.6%、「まったく知らない」42.9%で、4月のスタート時の調査に比べやや認知度が上がった。

「内容も含めて知っている」は役員・管理職・自由業(28.6%)が比較的高い。しかし「まったく知らない」がほとんどの層で4割を超えている。

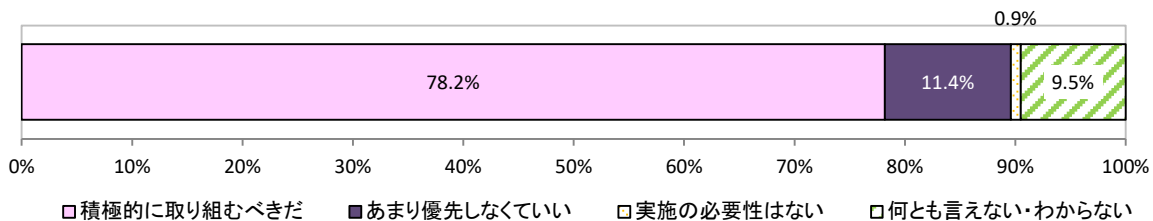
A 長野県総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン2.0」



### ◆学校へのエアコン設置 「積極的に取り組むべきだ」78%

知事選の最中に争点となった学校へのエアコン設置は「積極的に取り組むべきだ」が78%で、性別、年代、職業、地域のすべての属性で7割を超えている。「あまり優先しなくていい」は11%、「実施の必要性はない」は1%に過ぎなかった。

B 学校へのエアコン設置

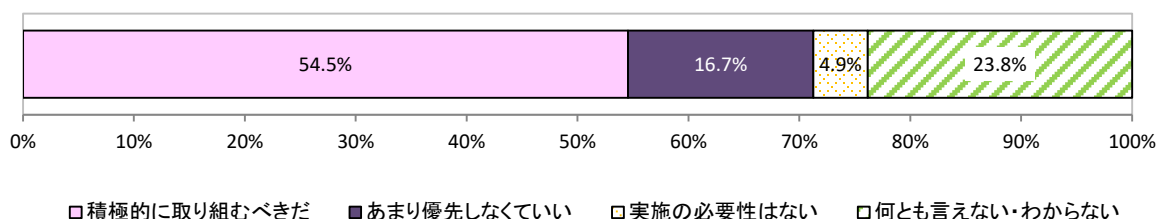


### ◆県営業本部の設置 「積極的に取り組むべきだ」は55%

阿部知事が公約に掲げた長野県をPRする県営業本部の設置は「積極的に取り組むべきだ」が過半数の55%、「あまり優先しなくていい」17%、「実施の必要性はない」5%、「何とも言えない・わからない」が24%だった。

「積極的に取り組むべきだ」は属性別でも大半が半数を超えている中で、中信は48%とやや低く、「何とも言えない・わからない」も30%と多い。全県への浸透は課題を残している。

C 長野県をPRする県営業本部の設置

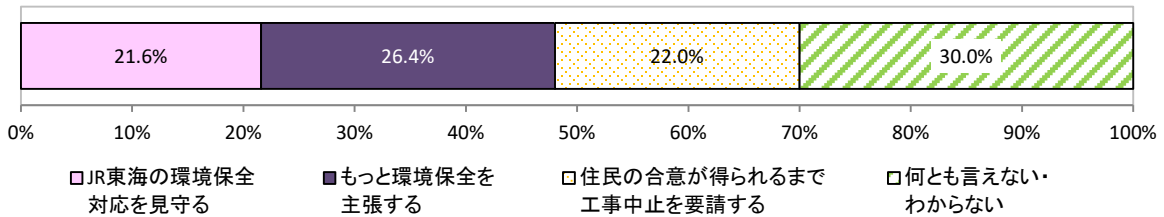


## ◆リニア工事の残土・環境問題 割れる県民の声

リニア中央新幹線工事に伴う残土・環境問題については「もっと環境保全を主張する」26%、「住民の合意が得られるまで工事中止を要請する」と「JR東海的环境保全対応を見守る」が22%、「何とも言えない・わからない」が30%と県民の声は割れている。

ただ工事個所に近い南信は「もっと環境保全を主張する」(30%)が「JR東海的环境保全対応を見守る」(25%)を5ポイント上回り、4地域の中で最も環境保全へのアピールを求めている。

D リニア中央新幹線工事の残土・環境問題

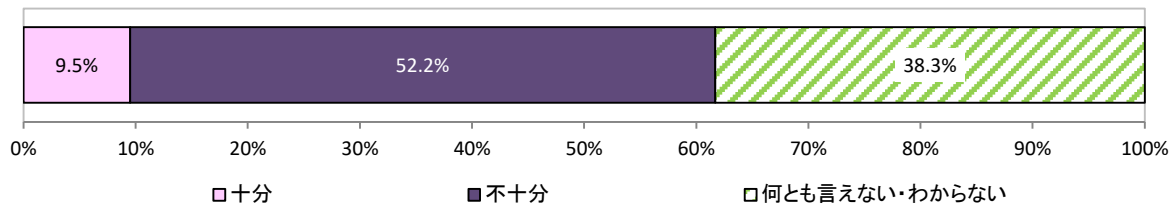


## ◆大北森林組合事件への対応 「不十分」が52%

大北森林組合の補助金不正受給事件への対応については「十分」10%、「不十分」52%と、なお問題があると思っている人が過半数となっている。「不十分」は特に男性(59%)、役員・管理職・自由業(61%)が多い。

「何とも言えない・わからない」が38%、30代以下の若い層は半数以上だ。

E 大北森林組合の補助金不正受給事件への対応

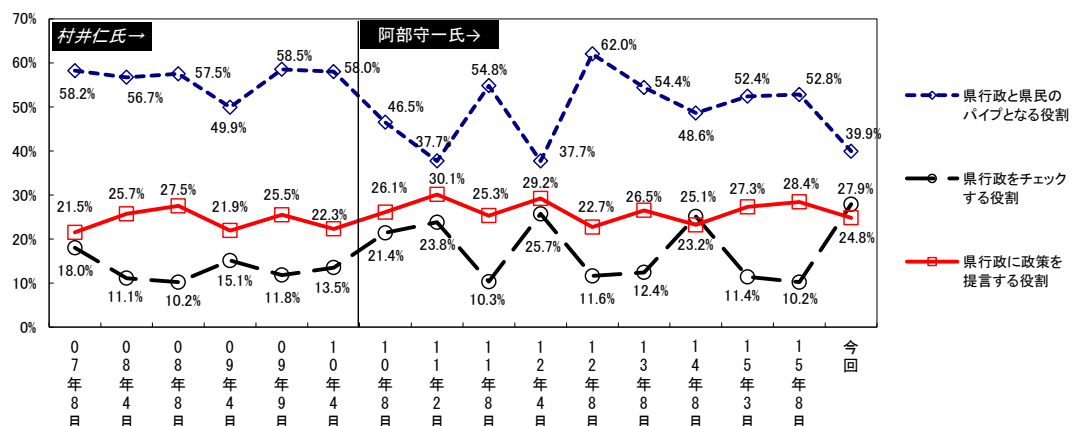


## 県議会の役割 (問7)

### ◆「県行政と県民のパイプ役」4割

阿部県政に対する県議会の役割として期待するのは「県行政と県民のパイプとなる役割」40%が最も多く、「県行政をチェックする役割」28%、「県行政に政策を提言する役割」25%の順だった。4年前の知事選直後に比べ「パイプ役」が8ポイント余低下、「行政チェック」と「政策提言」が微増となっている。

男性は「チェック」と「政策提言」を、女性は「パイプ役」への期待感が大きい。





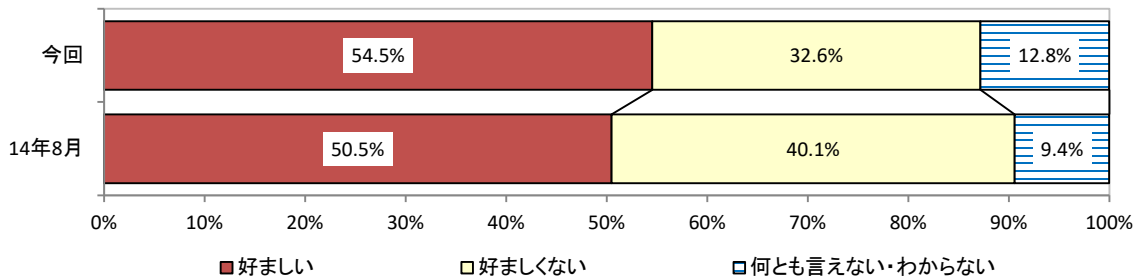
## オール与党体制に近い議会と知事の関係

(問8)

### ◆「好ましい」55%、「好ましくない」33%

阿部知事は14年の知事選に続いて、今回も共産党を除く県議会各会派から事実上の支援を受けた。このオール与党体制に近い議会と知事の関係に「好ましい」55%、「好ましくない」は33%。性別や年代、職業別、地域別でも「好ましい」が多数となっている。共産党支持者は85%が「好ましくない」としている。

同じ質問で聞いた4年前は、「好ましい」51%、「好ましくない」が40%だったので肯定が多少増えた。



## 県議会の改革

(問9)

### ◆「必要」全体で80%

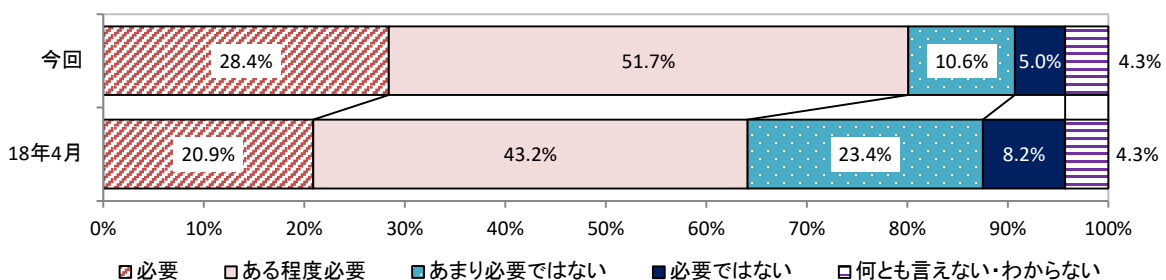
来年春の県議選を前に、県民の県議会に対する関心を高めるために休日や夜間に開く議会など改革の必要性を聞いた。

県議会の改革が「必要」28%と「ある程度必要」52%を合わせ80%が必要性を指摘、「必要でない」は全体で16%に過ぎない。

性別、年代、職業、地域、さらに支持政党別にみても「必要」がほぼ7割以上を占める。

「2018年度阿部県政スタート」調査(4月)で同じように尋ねた結果から、「必要」は16ポイントもアップした。

来年春の県議選まで定例会は9月、11月、2月と3回あり、改革への動きが注目される。



## 阿部知事の支持率

(問 10)

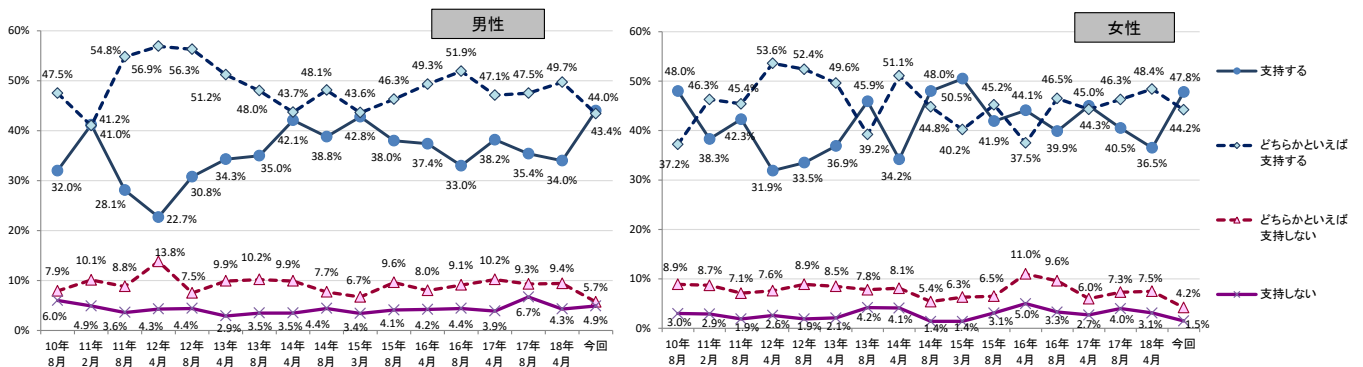
### ◆各層とも固い支持

3選された阿部知事の支持率は全体で90.0%、男性87.4%、女性92.0%。内訳を見ると今回「支持する」が46.1%で4月調査より10ポイント余アップ、「どちらかといえば支持する」の43.9%を上回り支持がより固くなったように思える。

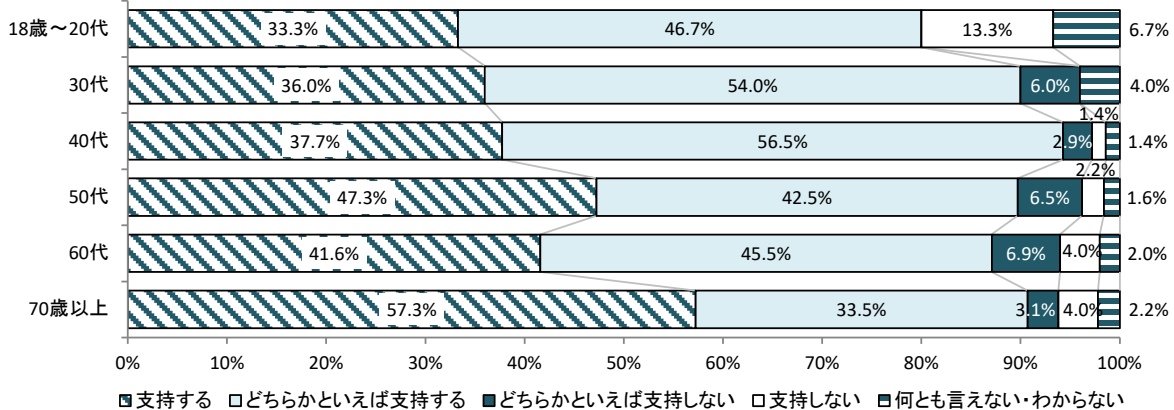
支持率は性別、年代、職業別でもすべて8割以上で、東北中南の4地域は89~90%となっている。

知事選で対立候補を推した共産党支持者は不支持(50%)が支持(45%)を上回るが、他の主要政党支持者は無党派層を含めて支持率85%以上だ。

不支持は全体で8.0%と阿部知事就任以来、最低を記録した。



### ◆年代別では



## 今後務めてほしい任期

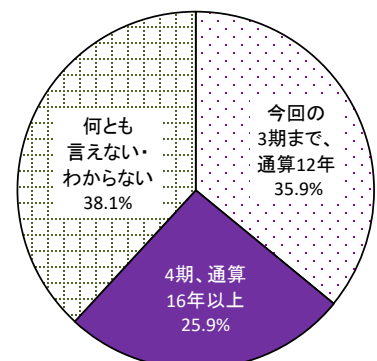
(問 11)

### ◆「3期、通算12年」が3人に1人

3選を果たした阿部知事に今後どのくらい知事を務めてほしいか聞いたところ「今回の3期まで、通算12年」36%、「4期、通算16年以上」26%で「何とも言えない・わからない」が38%だった。

「3期まで」は男性(47%)、60代(46%)が多い。また自民党支持者は「4期以上」(39%)が「3期まで」(28%)を上回る。

参考ではあるが、4年前再選直後に聞いた時は「1期(通算2期)」が半数だった。



## 安倍内閣の支持率 (問 12)

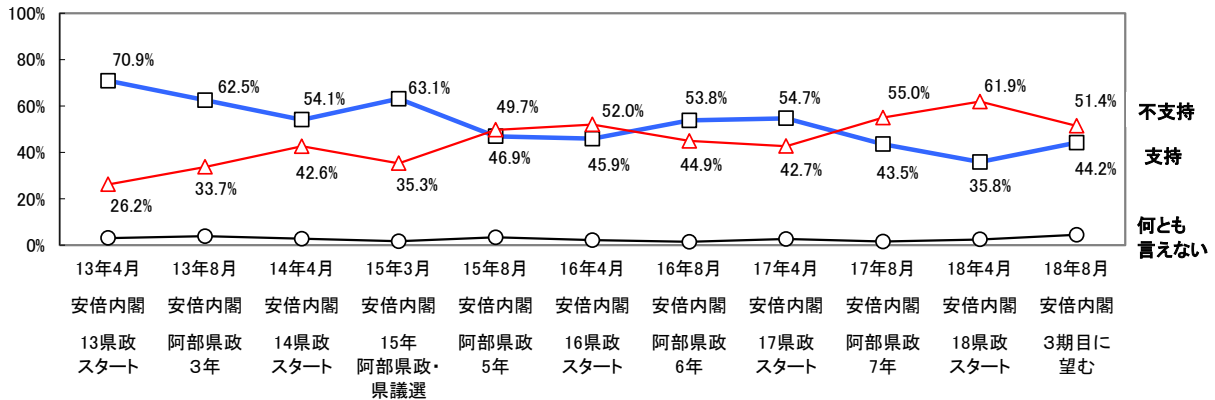
### ◆支持 44%、不支持 51%

安倍内閣の支持率は全体で 44%、不支持が 51%。協会の 4 月調査より支持が 8 ポイント余増、不支持が 10 ポイント余減で、不支持が 3 回連続上回っているものの差は縮小した。

年代別で 30 代までは支持、40 代以上は不支持が多数となっている。職業では農・林・漁業の不支持が 56%と高いことが目を引く。

また支持政党別で最大の無党派 (497 人) は支持 36%、不支持 59%で、いぜん安倍内閣の支持率は低い。

#### ◆内閣支持の推移



## 支持政党 (問 13)

### ◆「ある」39%、「ない」61%、4月と変わらず

支持政党について、県政調査ではまず「ある」か「ない」かを聞き、「ある」人にはその政党名を聞く 2 段階方式を取っている。

支持政党が「ある」39%、「ない」61%と 4 月の調査からほとんど変化がない。「ない」は 30 代までが 8 割以上、高年者ほど低くなるものの 70 歳以上でも半数に達する。

「ある」が属性で 5 割を超えたのは商工・自営業 (55%) だけだった。

「ある」と答えた 318 人に聞いた政党の内訳は自民党 55%、立憲民主党 19%、公明党 7%、共産党 6%であるが、調査対象者全体の中では自民党 21%、立憲民主党 7%、公明党 3%、共産党 2%となる。

